

フェーズ	チェック項目	1	2
準備用具等	時計・高度計・温度計・電卓・PC一式・プリンタインク・ロール紙・電池・スキャナ・コピー機 各種工具・予備コネクタ・予備ケーブル・予備ヒューズ・ビニルテープ・メジャー テスター・のこぎり・双眼鏡・ルールブック・タイミングブックレット・用箋はさみ		
エントリー	ポイントリスト・有資格者リスト・ポイントリストの1stPAGE (Z値・ミニマムペナルティ) ポイント外エントリーの推薦書・有資格者名簿の確認 エントリー一覧・大会要項		
前日機材セット	機材設置状況・同期動作確認・掲示盤の確認(表示桁数)・計時機材のモード ダミー信号によるリザルトシステムまでの動作確認・埋め込み配線の保護・露出配線の抜け止め 電圧変動状態・光電管/手動計時機材等の充電状態・放送機材テスト・無線のチェック ゴールエリアの安全確保(ケーブルリール位置・フィニッシュ杭の切り込み) 手動計時の位置 スタートゲートの幅と高さ・フィニッシュ幅GS・SL最低10m・SG最低15m 実測標高差とターン数範囲の確認・各機材のシリアル番号・火の元・テント類の突風対策		
ジュリー ミーティング前	タイムテーブルとプログラムの読み合わせ 前走予定人数・スタート時刻・競技者数・終了予定時刻 テクニカルデータ確認 保険加入状況 各ジュリーの時計合わせ		
リザルト システム 入力確認	CODEX・TD番号・大会名称・開催地・コース名称・計算固定値・コース公認番号・標高差 選手マスターは正しいものを使用しているか(ポイントリストと競技者一覧の検査) ジュリー・前走者・コースセッターのフルネーム確認 開始時刻		
ドロー TCミーティング	同ポイント確認・並び順確認・ボードコントロール立会・リバース数の確認(原則30位) BIBオフセット有無・BIBの色・スタートリストとドローボードの読み合わせ		
朝の設置状況	電源投入時刻(同期前30分以上)・同期時刻の予定確認(スタート時刻前60分以内) 光電管の設置状態(A-Bの誤差はないか・ビームの高さ・レベル・ぐらつき)・降雪落雪対応 タイマーモード、ブロック確認・同期・1分後の確認・手動時刻通告体制		
スタート前	光電管、掲示盤、バッファ等機器電源、手動計時のテスト ブロック確認・前走者の処理方法確認、スタートインターバルの設定 DATALINEスイッチ 旗門数(ターン数)入力・気象の確認・スケジュール放送サポート・誤差計算の準備 観客のコントロール SG種目の場合の実測全長 DS者の理由と主審への報告		
レース中	第2シードスタートインターバルの変更・レース中断時の放送等サポート スタートリストに残り時間を記入、スケジュール変更のサポート 電気計時と手動計時の誤差計算、DS-DF-DQ随時確認 タイミングリポート調製補助(Codex 性別 種目 各時刻 機材シリアルNoとホモロゲーション) 各種障害・オペレーションミスへの対応(中断を要す場合は主審に報告) 主審決定報告の掲示		
2本目の前 30人終了後	データ吸い上げ・再同期・書き込み リバース数チェック、2本目スタートリスト・旗門チェック表・2本目開始時間・旗門数入力 光電管の接続・電源確認・杭のゆるみ確認 ペナルティポイント手計算、表彰用速報出力		
レース終了後	終了時刻・気温・DS・DF・DQ入力 主審決定報告との読合せ 公式掲示放送、抗議期限確認 リザルトシステムのバックアップ サブシステムに入力もれはないか タイミングリポートとリザルトの読み合わせ(各RUNのBestTime, Bib, NetTime) TDサイン ブリテン原稿(競技結果・ペナルティ計算書・議事録)の調製、送付先の確認 計測機材の整理・清掃・乾燥・電池抜き・ケーブル類の傷確認(必要なら修理を指示)		